

■福羽逸人 園芸学者。現在のいちごのルーツの品種開発など、日本の園芸界の基礎を築き、新宿御苑改修で造園学の祖にも。

ふくばはやと

松下村塾・・・1856＝ 石見国津和野で、藩士佐々布利厚の三男に生まれる。

安政の大獄・1859＝ 3歳：父が死去、

桜田門外変・1860＝ 4歳：

薩摩藩士密航1865＝ 9歳：

明治維新・・・1868＝12歳：

学問のすすめ1872＝16歳：石見出身の_国学者福羽美静の養子となり、上京。

明治6年政変 1873＝17歳：

佐賀の乱・・・1874＝18歳：

初の民間工場1875＝19歳：_津田仙の主宰する学農舎農学校に入って農芸化学を修め、ドイツ語その他も学び、

西南戦争・・・1877＝21歳：_津田仙の紹介で、内藤新宿試験場の実習生となって、伝来間もない洋式園芸を習得、また甲州入りし、大久保暗殺・1878＝22歳：_＊聞書き「甲州地方葡萄樹繁殖来歴」をまとめて、卒業。農商務省に入り、各地を精力的に調査して、「伊豆諸島巡回報告」「紀州柑橘録」を出版。

・・・1880＝24歳：_福羽の建議に基づいて兵庫県に官営播州葡萄園が設立され、

明治14年政変1881＝25歳：「甲州地方葡萄樹繁殖来歴」を出版。

新体詩抄・・・1882＝26歳：_劇場長として赴任、

岩倉具視没・1883＝27歳：

帝国大学始・1886＝30歳：_＊園長になるとともに、フランス・ドイツへ派遣留学。ブドウ栽培法とブドウ酒醸造法を修め、

帝国憲法発布1889＝33歳：_パリ万博を視察、ヨーロッパと北米を訪問して帰国、農商務省技師兼東京農林学校講師となり、

帝国議会始・1890＝34歳：_初めて園芸学を講義の一方、早くも良質の早出し野菜の安定生産に成功、

足尾鉾毒始・1891＝35歳：_オランダから輸入したイチゴを改良にも努める。宮内省御料局技師に任命され、

大本教・・・1892＝36歳：_以後、生涯の大半を新宿御苑で過ごす。「蔬菜栽培全書」出版。

郡司千島探検1893＝37歳：_新宿御苑に本格的な加温温室が建設されると、メロンやラン・熱帯果樹などの栽培を試み、

日清戦争始・1894＝38歳：

白馬会・・・1896＝40歳：_伏見宮貞愛親王のロシア訪問に随行し、帝国園芸場を視察調査。「果樹栽培全書」を刊行。

八幡製鉄始・1897＝41歳：_植物御苑掛長になると、御苑温室で栽培する蘭科植物を採集すべく、フィリピン・台湾へ調査出張。

子規句歌革新1898＝42歳：_新宿御苑内苑頭になると、本格的な御苑改修事業に着手すべく、

Bushidou・・・1899＝43歳：_＊ロシアのサンクトペテルブルグでの万国園芸博覧会出席を兼ねて、欧州各国における庭園づくりの実地視察をおこなう。いちごの新品種「福羽」を開発して皇室に献上、のちの人気諸品種のルーツとなる。

パリ万博付属万国学会会議の委員として出席。万博に出品した菊の大作りが大好評の一方、ベルサイユ園芸学教授のアンリ=マルチネーに御苑を庭園に改造する設計を依頼し、

田中正造直訴1901＝45歳：_帰国。

教科書疑獄・1902＝46歳：_それにもとづいて、着工し、

日露戦争始・1904＝48歳：_この年まで東京農林学校での講義続けた。宮内省内苑局長に就任、全般の指揮をとる立場になる。

日露戦争終・1905＝49歳：

満鉄発足・・・1906＝50歳：_完成させ、新宿御苑が現在の姿になる。

・・・_続いて、東京市の依頼で街路樹の試験研究、白沢保美と協力立案し、3年で街路樹を育成定植させる。この頃には、イチゴ促成栽培が愛知県清洲や静岡県久能に導入され、やがて全国に普及。

韓国反日暴動1907＝51歳：_爵位を継承。

アヲギ 創刊・ 1908＝52歳：_武庫離宮(須磨離宮公園)の庭園設計を行う。

韓国併合・・・1910＝54歳：_＊この年までに延べ8回に渡って欧米各地を訪れ、その足跡は極めて幅広い。

明治天皇没・1912＝56歳：

大正政変・・・1913＝57歳：_大膳頭並内匠寮御用掛に就任、

ロシア革命・1917＝61歳：_退任し、正三位勲一等瑞宝章。宮中顧問官となる。

ベルサイユ条約・1919＝63歳：_農学博士号を授与され、

原敬首相暗殺1921＝65歳：_没した。